

## Story of Senpai's Experience

氏名 / Name	高橋 良子 (Ms. Ryoko Takahashi)
学部 / College	APS
参加プログラム / Program	Old Dominion University – Externship Studies Practicum (ESP) 3-month Program
参加時期 / Program period	2015 年 3 月-5 月 / March – May, 2015
エクスターンシップ先 / Externship Host Organization	Norfolk Fair Trade Co. (起業家支援 NPO 団体)

ESP プログラムの醍醐味でもあるエクスターンシップは、主に 2 つの志を持って挑みました。1 つ目は、自分の持つ英語能力やコミュニケーション能力が現場でどれだけ通用するのか試してみることに。2 つ目は、ビジネスの仕組み（ビジネスアイデアの企画から販売までの流れ）に興味があったため、アメリカでビジネスがどのように行われているのかを学ぶことでした。

アメリカでは、バージニア州ノーフォークにある Old Dominion University で 7 週間の英語学習に取り組んだ後、Norfolk Fair Trade Company (以下'NFTCO') という起業家を目指す人々へ教育サービスを提供する会社へ派遣され、3 週間のエクスターンシップ実習を行いました。NFTCO には、お客様への商品販売を練習する小売りスペースが設置されており、それが NFTCO のレクチャールームの半分を占めていました。

会社での実習では、新規のビジネス案を作りあげること、入店から会計までのお客様対応、NFTCO のブログ・メールマガジンの投稿などの業務を主に経験しました。ビジネス案作成では、街頭インタビューを行ったり、そのビジネスが生み出す価値とは何かを考えるワークを行いました。お客様対応では、お客様が求めているものを瞬時に把握し、商品の提案を行ったり、お客様の行動や表情を見てお客様の状態に合わせた働きかけをすることを学びました。また、ブログ・メールマガジン投稿は、起業家を目指す生徒さんをインタビューして記事にするものですが、生徒の皆さんが起業する「価値」は何か、言い換えれば、起業が生徒の皆さんの人生に何を生み出そうとしているのかをインタビューの中で見つけ出し、読み手に「伝わる」言葉で文章に起こすことを行いました。

このように実習中に取り組んだ様々な経験の中で最も印象に残ったことは、「どのワークや仕事にも絶対的な答えはない」ということでした。答えがない分、お客様や生徒の皆さんと真剣に向き合い、深く考え、限られた時間の中で最高の結果を生み出すであろう決断をしていく難しさを痛感しました。この経験は、大学を飛び出し、社会の中に実際に身を置いてみたからこそ経験できたことだと確信しています。

プログラムを終えて、ESP プログラムは「答え」や「お手本」がなく、自分の行動がそのまま成果として大きく反映される、また、自分の力で考え行動していく心構えと実行力が試

される、そんなプログラムであったと実感しています。ちなみに、私の言う「成果」とは、行動自体ではなく、行動を起こすまでに自分がどのように考えたか、行動という結果よりも、行動に移すまでの「考え」自体が成果であると考えています。考え方が消極的であればあるほど行動も消極的になるし、積極的であればあるほど行動も活発になります。そのため、自分の殻から抜け出して、外の世界へ一歩踏み出そうとする考えをもって挑む姿勢こそが、多くの気づきや変化を生み出すには必要不可欠且つ最も大切なポイントだと思います。

プログラム終了した今、2つの志の1つ目「人と関わる能力を測ること」と、2つ目「企画から販売までのビジネスの仕組みの理解」のどちらも、実践的な経験の数々を通じて達成することができました。今後は、今回の経験から得た気づきや視点を基に、新たな課題に向き合っていこうと考えています。

最後に、これからサービスラーニング・プログラムに参加しようと考えている方へ一言。このプログラムには、これまでの自分から抜け出し、積極的に変化を起こしたいという人に是非参加してもらいたいと思います。学生としての自分から一歩踏み出し、社会人としての意識を最大限高めるべく、自分自身で考え、選択し、自信をもって実行し、変化を起こせるようになりたいと考える人は、きっと多くの学びが得られると確信しています。